



広報

なま 市民の友

第623号 毎月1回発行
2002年(平成14年)

12月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
*()内はうち外国人 2002(平成14)年10月末現在	
総人口	307,596(1,814)
男	148,757(931)
女	158,839(883)
世帯数	119,726(1,035)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	86,531
真和志	105,949
首 里	58,540
小 緑	54,762

「ウシユガナシーメーヌウトウインドー(御主加那志前のお通りだあー)」
首里の町々に大音声が響きわたり、晴れ渡った秋空にこ
こちよい路次案の音が吸い込まれてゆく。毎年十一月三日
文化の日に行われる「古式行列」は、首里文化祭のクライマ
ックスを飾るイベントだ。

この日の首里地域は終日、華やかなお祭りムードで盛り
上がり、さわやかな秋晴れの古都のまちに往時をしのぶ華
やかな王朝絵巻が繰り広げられた。



首里文化祭 古式行列

古都を往く王朝絵巻

主な紙面
 (2面) ごみ減量へのひとひねり
 (3面) 平成15年保育所入所児童募集
 (4面・5面) ごみ処分場は
 限りある資源です
 (6面) 平成14年度上半期那覇市の財政
 (7面) 情報PACK



新年に市内で行われる書き初め大会を拝見するのを楽しみにしています。(右奥は自筆の書)

転勤先の地元に対しては「お世話になってる」との感謝の念を忘れないようにしている。
那覇市での単身生活も2年になるが、とても住みやすい街だ。
官庁、ビジネス街、観光スポット、飲食店街がコンパクトに集中していて効率的に移動できる。本土では贅沢な乗り物のタクシーも、比較的安価でかつ過剰なくらいの供給があるので、大いに重宝させてもらっている。また、人口比では全国一多いと言われる飲食店のお陰で、夕食のバラエティにも事欠かない。
私は小緑・金城のアパートに住んでいるが、近くには多数の公園が点在していて、休日になると家族連れで賑う。本土に比べて恵まれた環境だと思う。朝、鳥の声を目覚ますと、いつも目の前の公園にお掃除の人が来てトイレを綺麗にしている。メンテナンスも素晴らしい。
那覇市は伝統文化保存の面でも優れていると思う。琉舞、三線、

このようにとても住みやすい那覇市だが一つ残念なことがある。私はバス通勤しているが、バスの乗客が「二人用座席は一人で使用するもの」と思っているフシがあることだ。混雑してきても隣に置いた荷物をどけようとしたくない、老人(私ではない)が乗ってきたりもせず席を譲らない。特に学生にその傾向が強い。
沖縄県人の長所を表現するのによく使われる言葉が「ホスピタリティ」。「小事にこだわらない大らかさ」を意味したものだと思いが、これに「細やかな心遣い」が加わることを期待したい。

支店の視点⑨

鈴木 実

日本貿易振興会 (JETRO) 沖縄所長

1949年(昭和24年)生まれ。神奈川県逗子市出身。ジェトロ入会後、海外ではシドニー、シカゴ、国内では東京、横浜、富士宮に勤務。2000年10月に那覇着任。ジェトロは海外の経済・貿易情報の提供や外資系企業の国内誘致などを行っている。

「ごみ」最終処分場の使用期限が迫っています。(4・5面に特集記事)